北小物語2018

◇◇◇「いい顔」「いい声」「いい心」たゆみなく流れて清き「わが田平北小」◇◇◇

平成３０年　６月１３日
平戸市立田平北小学校
学校便りＮｏ．（ ２２ ）
校長　曽川　和則

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆★☆彡 第２２話：「ここで一句・・・『アジサイの 花に囲まれ 登下校』！」の巻　☆★☆彡

6月の学校

雨に打たれるアジサイの花の向こうに、笑顔で登校してくる子どもたちの姿が見えます。葉の上のカタツムリも子どもたちに負けじと歩を進めています。月日の経つのは早いもので、もう一学期も折り返し地点を過ぎました。

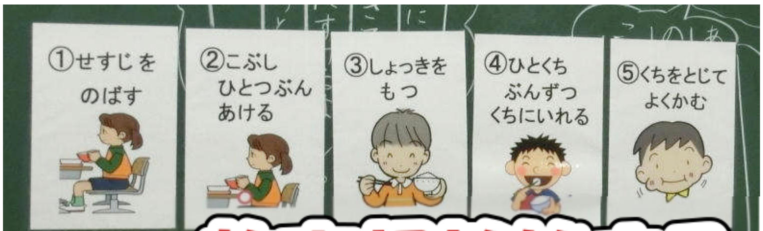
アジサイの花言葉は「団らん」そして、「和気あいあい」・・・運動会という大きな学校行事を通して培ってきた北小の温かな「団らん」。子ども同士も、その仲を深め合っています。そんな北小の６月の様子を少しだけお届けいたします。

食育のすすめ

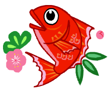
⑤
くちを
とじて
よくかむ

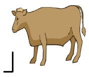
「食べることは生きること」・・・６月は「食育」月間です。本校には学校栄養職員が在籍し、田平町内の４つの学校に美味しくて栄養豊富な学校給食を提供しています。それと同時に４つの学校の各学級に入り、食事のマナーや栄養についての学習、正しく食べることなど「食育」の指導を実践しています。食事は、仲間や家族との大切な「団らん」の場です。食べ物を囲み「いただきます」と声をあわせ、感謝の心を家族で共有するとともに学校での出来事やお子さんの夢のお話、家族の約束などをテーマに会話を楽しむ食事の時間をつくり出してください。

平戸市でも、総合計画の将来像として、「ひと（HITO）響きあう　宝島　平戸」をキャッチフレーズに掲げ、「食育」の面から、下記のような推進活動を展開しています。「食べることは生きること」です。



た「楽しく家族でだんらん」
か「感謝して」
ら「ライス（米）と野菜と肉・魚の」
じ「自慢の平戸食材を」
ま「毎日食べよう！リズムよく」





※ご家庭での実践が心身ともに子どもを大きくします。

教育相談始まる

６月は「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の実践を進めます。本校でも北っ子一人一人の心を見つめ、担任との「教育相談」を行っています。子どもの声を大切に、安心・安全で居心地のよい学校づくりの実現めざし努力していきます。